

■必要諸室及び仕様

部門	室名	室の使い方等	特記事項	参考面積 (㎡)	天井高 (m) 以上	建築					電気				機械				備考
						床下地	床仕上	壁仕上	天井仕上	流台	照度 (lx)	電話	TV	LAN	空調	給水	給湯	洗面台	
	仕上等凡例	【床下地】C：コンクリートコテ押さえ、OA：OAフロアH=100 【壁仕上】EP：エマルジョンペイント、EP-G：艶有りエマルジョンペイント	【床仕上】TC：タイルカーペット、VS：長尺塩ビシート 【天井仕上】DR：岩綿吸音板																
	共通事項	<p>【一般共通事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広がりや明るさを感じさせる空間とし、圧迫感のない、空間・色彩・照明計画とすること。 ・採光窓については、自然光が公式競技や興行等利用時の妨げとならないよう、遮光装置（電動）を設けること。 ・遮光装置は、湿気に強い製品とすること。 ・遮音、吸音を考慮すること。 ・内外問わず、窓には全てカーテン、ブラインド又はロールスクリーンを設けること。 ・ドライゾーンとウェットゾーンを明確に区分したゾーニングとすること。 ・水温調整については「プール公認規則」に従い、各競技に適した温度設定が可能とすること。 ・室温についてはプール全体の温度分布に留意し、観客席と競技床面それぞれに快適な温度分布を維持する空調システムとすること。 ・高機能循環ろ過装置（オゾン浄化装置、紫外線殺菌装置、中空糸膜装置等の高度処理装置を併設したもの）を設置すること。 ・可動床等は動作状況を確認しながら操作できるようにすること。 ・大型表示装置 1面以上を設置すること。スクリーンサイズは、最低横32文字、縦12行を表示するものとし、文字高は360mm以上とすること。選手、観客から見やすい位置に設置すること。 ・大型表示装置はフルカラーLED（画素ピッチ:10mm以下）とし、リザルト表示システム（時計・計測システム）と連動すること。 ・大型表示装置はプールからの湿気や塩素を考慮した製品とし、表示面はIP65（防水規格）をクリアした防水仕様とすること。 ・音響対策に十分に配慮し、残響が少なく明瞭度の高い音響計画とすること。 ・床荷重については必要な数値を設定すること。 <p>【大規模な公式大会を想定した対応事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国スポ・全スポ等の大規模な公式大会時の選手入場動線を考慮すること。 ・施設要領に定める競技用具のうち、自動審判計時装置等の設備品の配線等の工事を伴うものは、配線ルート等を埋設で計画すること。 ・計時計測設備及び大型映像装置と連動した館内共聴設備を設置すること。 ・国旗等を掲揚するため、速度可変式昇降装置付きフラッグボタンを設置すること。 																	
プールエリア	50mプール	<ul style="list-style-type: none"> ・レーン数は10レーンとし、（公財）日本水泳連盟「プール公認規則」による「公称50m国内基準競泳プール」、公認10レーンの公認を取得すること。 ・可動壁による分割時に、長辺方向で（公財）日本水泳連盟「プール公認規則」による「公称25m国内基準競泳プール」、公認10レーンの公認を取得すること。 ・（公財）日本水泳連盟「プール公認規則」による国内基準アーティスティックプールの公認を取得すること。 ・（公財）日本水泳連盟「プール公認規則」による国内基準水球プールの公認を取得すること。 ・可動壁による分割時に、22.00mの部分は直行方向（短辺方向）にアップダウン用プールとして8レーンのコース設定が可能なものとする。 ・大会や練習等で使用しない時には県民利用を想定すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プールサイズはL50.02m×W25.00mとする。 ・可動壁により、長辺方向を25.02m + 3.00m（可動壁部分） + 22.00mに分割できるものとする。（別紙10参照） ・可動床により、水深を0.0m～3.0mの範囲で可変できるものとする。 ・スタート台とタッチ板（取り外し式、両端壁に設置）を設置すること。 ・各種競技の他、想定される一般利用の形態に合わせて水深調整があらかじめ設定されたプリセットパターンを用意し、ボタン操作により利用に合わせた変更操作が容易なものとする。 ・身体障がい者や高齢者等が、利用しやすい計画とすること。 ・身体障がい者や高齢者等の入水に配慮した移動式の階段等の設備を備えること。 ・照明は利用形態に合せたパターン点灯が可能なものとする。 ・プールサイドに視認性の高い水深表示装置を設置すること。 ・露出する場合の天井の梁等の形状、照明器具等の配列等をレーン方向に平行とする等、選手の心理的側面にも十分に配慮した計画とすること。 ・選手や観客に対するグレア等の支障が生じないように、遮光ブラインド等を設置すること。 ・カメラで撮影した映像に基づく泳法の解析や選手への即時指導を可能とするため、天井・プールサイド・水中底面から動画撮影できるカメラ、その制御システム（カメラ制御、遅延再生、録画機能等）、即時指導に活用できる機器（タブレット、モニター等）を設置すること。 そのほか、水中と水上を同時に動画撮影できるカメラや、泳法の解析ができるシステム（ソフトウェアを含む）の導入についても可能な範囲で提案すること。対象競技は主に競泳（特定レーンの撮影を想定）とし、水球及びアーティスティックスイミングについては、俯瞰で撮影した映像など併用可能なものを活用する。 	1,877 (プール部分のみ)	提案	C	提案	提案 ※注1	提案 ※注1	提案	600lx 以上 (水面上1m) ※テレビ映像撮影時は2500lx 以上 (※仮設対応可)	○	○	○	○	○	○	提案	可動壁 可動床 遮光 循環ろ過装置 ※注1：壁仕上・天井仕上等において木材活用の方針を踏まえた優れた空間意匠の提案を期待する。

■必要諸室及び仕様

部門	室名	室の使い方等	特記事項	参考面積 (㎡)	天井高 (m) 以上	建築					電気				機械				備考	
						床下地	床仕上	壁仕上	天井仕上	流台	照度 (lx)	電話	TV	LAN	空調	給水	給湯	洗面台		
プールエリア (つづき)	飛込兼25mプール	<ul style="list-style-type: none"> 飛込プールとして(公財)日本水泳連盟「プール公認規則」に基づく「国内基準飛込プール(一般飛込プール)」の公認を取得すること。 幅方向において25m競泳プールとして8レーンの設定が可能なものとする。 大会や練習等で使用しない時には県民利用を想定すること。 	<ul style="list-style-type: none"> プールサイズは幅25.02m×奥行25.00mとする。 可動床により、水深を0.0m～5.0mの範囲で可変できるものとする。 各種競技の他、想定される一般利用の形態に合わせて水深調整があらかじめ設定されたプリセットパターンを用意し、ボタン操作により利用に合わせた変更操作が容易なものとする。 「公認規則」に基づき、「別紙14 飛込台レイアウト案」を参考として、飛込台及び飛板を設置すること。 水深が5m未満の時には飛込台に人が物理的に入れないように入口が自動施錠する等、安全面に十分配慮すること。 プールサイドに視認性の高い水深表示装置を設置すること。 照明は利用形態に合わせたパターン点灯が可能なものとする。 飛込台付近の照明器具は審判員を含めたグレア対策のために個別点灯が可能なものとする。 カメラで撮影した映像に基づく演技の解析や選手への即時指導を可能とするため、プールサイドから動画撮影できるカメラ、その制御システム(カメラ制御、遅延再生、録画機能等)、即時指導に活用できる機器(タブレット、モニター等)を設置すること。対象競技は飛込(飛び出しや入水の撮影を想定)とする。なお、十分な機能を満たす範囲において、移動式のカメラやモニターの導入など、一部機器の50mプールとの併用を可とする。 	【※上段つづき】 1,877 (プール部分のみ)	提案 (飛込プール公認基準による)	C	提案	提案 ※注1	提案 ※注1	提案	600lx 以上 (水面上1m) ※テレビ映像撮影時は2500lx 以上 (※仮設対応可)	○	○	○	○	○	○	提案	飛込台及び飛板 可動床 遮光 循環ろ過装置 ※注1：壁仕上・天井仕上等において木材活用の方針を踏まえた優れた空間意匠の提案を期待する。	
	観客席	<ul style="list-style-type: none"> 大会時の観客席として使用する。 大規模大会時にはメインスタンド対面側プールサイドの観覧スペースを観客席として併せて使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> メインスタンドと観覧スペースの観客席利用の合計で2,500席以上とすること。 メインスタンド観客席は1,500席以上とし、50mプールの長辺方向と平行に配置すること。 座席は背付椅子とし、1席あたりの幅は450mm以上、奥行きは450mm以上とすること。 客席前後の間隔は900mm程度とし、2列前の観客の頭越しにプールの端部が視認できる等、サイトライン検証に基づく配置とすること。 観客席総数の0.5%以上を車いす対応とすること。 車いす使用者用客席は、2か所以上の異なる位置に分散して設け、観覧及び利用がしやすい位置とすること。 車いす使用者用客席は、少なくとも同時に2以上の車いすが利用できること。 車いす使用者用客席は、固定席位置に確保すること。 車いす使用者用客席は、床面又は手すり等に、車いす使用者用客席であることを表示すること。 車いす使用者用客席、一台につき間口90cm以上、奥行き120cm以上とする。 座席にはチケット表記のための番号、記号を取り付けること。 観覧スペースの床仕上等は、大規模大会時の観客席としての利用とプール利用者の休憩等の利用の双方において、快適かつ機能的な利用に配慮すること。 	1466 (観覧スペースを含まず)	提案	C	提案	提案 ※注1	提案 ※注1	提案	500lx	○	○	○	○	○	○	○	※注1：壁仕上・天井仕上等において木材活用の方針を踏まえた優れた空間意匠の提案を期待する。	
	プールサイド	<ul style="list-style-type: none"> 大会役員席や競技指導を行う場所としても使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> プールサイドのスペースは以下に基づき確保すること。 本部席側 10m以上 本部席対面側 観覧スペース前面から7m程度 50mプールと飛込兼25mプールの間 10m (以上) 50mプールのターンサイド(飛込プールと反対側) 8m程度 飛込プール後方 13m程度 (※飛込台、階段及び後方スペースを適切に確保) 仕上げ等、利用者の安全性に配慮した計画とすること。 プール廻りの床下配管が点検できるように配慮すること。 	3,150 (観覧スペースを含む)	提案	提案	提案	提案 ※注1	提案 ※注1	提案	600lx	○	○	○	○	○	○	○	提案	※注1：壁仕上・天井仕上等において木材活用の方針を踏まえた優れた空間意匠の提案を期待する。
	温浴槽	<ul style="list-style-type: none"> プール利用者の身体を短時間で温めるために整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 50mプールに、温浴槽または採暖室を設置すること。 飛込兼用25mプールには、プールに近い場所に2基以上の温水シャワーと温浴槽を設置すること。 	上記に含む	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	○	○	○	提案		

■必要諸室及び仕様

部門	室名	室の使い方等	特記事項	参考面積 (㎡)	天井高 (m) 以上	建築					電気				機械				備考
						床下地	床仕上	壁仕上	天井仕上	流台	照度 (lx)	電話	TV	LAN	空調	給水	給湯	洗面台	
プール関連諸室	放送室・記録室	・大会時に大型表示装置を操作する室として機能すること。 ・協議判定及びタイムを記録する室として機能すること。	・十分な機器スペース及び操作スペースを確保すること。 ・室内にて大型表示装置の画面及びスタート位置及びゴールサイドが容易に確認できる配置とすること。 ・プールサイドに直結する出入口を設けること。 ・プールサイドに面した位置とし、プールサイド側をガラス張り等により目視が容易に行えること。	72	2.6	OA	TC	提案	DR		500lx	○	○	○	○				
	審判員控室	・審判員専用の更衣室、控室として使用する。	・プールに近接し、一般観客及び報道関係者から隔離されている場所に計画すること。 ・選手下更衣室と動線上接触しないこと。 ・ロッカー、椅子、テーブル、ホワイトボードを設置すること。 ・シャワールーム、洗面台、トイレ等を整備すること。	42	2.6	C 又は OA	VS 又は TC	提案	DR		500lx	○	○	○	○	○	○	○	
	大会運営室	・大会時において大会運営本部室及び役員室として使用する。 ・平常時においては会議室等として使用できるものとする。	・プールサイドに面して、大会時にプール競技エリア全体が見渡せ、大会会場全体の状況が把握しやすい位置に配置する。 ・プールサイド側をガラス張りとし、目視確認が容易に行えること。 ・プールサイドに直結する出入口を設けること。	94	2.6	OA	TC	提案	DR		500lx	○	○	○	○	○	○	提案	
	表彰準備室	・大会時において、大会運営本部と連携して表彰準備に使用する。 ・平常時においては会議室等として使用できるものとする。	・大会運営室と隣接した位置に配置する。	23	2.6	C 又は OA	VS 又は TC	提案	DR		500lx	○	○	○	○	提案	提案	提案	
	会議室	・水泳に関連する研修、講習会、会議等に使用する。 ・大会時は大会運営本部予備室、役員・VIP・関係者・運営スタッフ控室、警備員及び警備スタッフ控室等としても使用する。	・大会時における適切な機能・用途の割付け等に対応できるよう、複数室の適切な分散配置又は可動間仕切りによる分割使用等に配慮すること。 ・大会運営本部を補完する機能への使用に対応するため、プールサイドに面する配置の室を極力確保し、プールサイド側をガラス張りとする、プールサイドに直結する出入口を設ける等、使用勝手に配慮すること。 ・プールサイドに面しない室は控室等として使用する。	257	2.6	C 又は OA	VS 又は TC	提案	DR	提案	500lx	○	○	○	○	提案	提案	提案	
	記者室	・大会時には記者が控え、作業できる室として機能すること。 ・平常時においては会議室等として使用できるものとする。	・大会進行を把握できる映像モニターや弱電設備、情報通院回線、電話回線を設置すること。 ・プールサイドに面した位置とし、プールサイド側をガラス張り等により目視が容易に行えること。	30	2.6	C 又は OA	VS 又は TC	提案	DR	提案	500lx	○	○	○	○	提案	提案	提案	
	医務室	・本施設内でのけが人、急病人等の救護、応急処置を行う室として機能すること。 ・大会時におけるドーピング検査室としての機能を兼ねるものとする。	・プールサイドに面し、かつ監視員・指導室と隣接又は近接した位置に配置し、プールサイドに直結する出入口を設け、迅速な救護・応急処置等が可能な計画とすること。 ・ストレッチャーの運用や、救急車の寄付き位置との近接性等に配慮した位置とすること。 ・ドーピング検査室として使用する際に、その機能の独立性の確保と、検査対象者のプライバシー確保に配慮した計画とすること。 ・室内にトイレを配置、またはトイレを直近に配置すること。	23	2.6	C	VS	EP (EP-G)	DR	提案	500lx	○	○	○	○	○	○	○	
	監視員・指導室	・プールの安全管理・監視・事故防止のための監視・指導員のための室として使用する。	・プールサイドに面した位置とし、ガラス張りとする。 ・死角なくプール全体を見渡すことができ、また利用者にとってわかりやすい位置に設けること。 ・可動壁・可動床の制御装置を設置すること。	46	2.6	C	VS	EP (EP-G)	DR	提案	500lx	○	○	○	○	○	○	○	
	選手招集室	・競技前の招集室として使用する。	・選手40人の招集・待機に対応すること。 ・レーン数分の選手が一行に整列できる幅と、4～5列分の奥行を確保すること。 ・更衣室及びプールとの動線に配慮した計画とすること。	95	2.6	C	提案	提案	提案	提案	500lx	○	○	○	○	提案	提案	提案	
選手ラウンジ	・選手招集室の前室及び招集前その他随時の待機等の機能に使用する。	・選手招集室に隣接して配置するとともに、更衣室等の動線のハブ（HUB）となる位置に配置する。	143	2.6	C	提案	提案	提案	提案	500lx	○	○	○	○	○	○	○		

■必要諸室及び仕様

部門	室名	室の使い方等	特記事項	参考面積 (㎡)	天井高 (m) 以上	建築					電気				機械				備考
						床下地	床仕上	壁仕上	天井仕上	流台	照度 (lx)	電話	TV	LAN	空調	給水	給湯	洗面台	
プール関連諸室 (つづき)	男子・女子更衣室	・プール利用者のための更衣室として機能すること。 ・大会時には選手用の更衣室としても機能すること。	・男女別として更衣室を設け、外部から見通せない構造とすること。 ・男女各200人以上のロッカーを設けること。 ・更衣室からプール及び各エリアへの動線に配慮すること。 ・シャワールーム、洗面所、トイレ等を整備すること。女性用の更衣室にはパウダールームを設けること。 ・ドライゾーンとウェットゾーンを明確に区分したゾーニングとすること。 ・ドライゾーン部分の床面をドライに保つことのできる機能を備えること。	(合計) 283	2.6	C	提案	EP-G	提案	○	500lx	○	○	○	○	○	○	○	
	多目的更衣室	・誰もが利用し易い更衣室として機能すること。	・誰もが利用しやすい更衣室を独立して2室以上設けること。 ・それぞれにバリアフリートイレを併設すること。 ・カーテン、ロッカー、シャワーブース、ベッド、ベンチ、手すり等を適所に設置すること。 ・プールへの動線には段差がないようにすること。 ・利用者、介助者双方の更衣等に配慮した構造とすること。 ・その他、一般用の更衣室と同等の配慮を行うこと。	23	2.6	C	提案	EP-G	提案	○	500lx	○	○	○	○	○	○	○	
	器具庫	・プール関連機器、備品類の収納場所として使用する。	・「別紙16 プール備品リスト」、「別紙17 プール電気備品リスト」に示す備品等を余裕を持って収納できるスペースを確保すること。 ・プールサイドから利用しやすい位置に設置すること。 ・プールサイドに器具等を置くことのないよう、十分な広さを確保するとともに、空間を有効利用するため、収納棚を配置すること。 ・大型器具の搬入や外部からの器具等の搬入に配慮すること。 ・換気を十分にを行い、壁面の結露や床面の水たまりができないように配慮すること。 ・一般利用者等が安易に立ち入ることのないように配慮すること。	319	3.5	C	提案	提案	提案	○	200lx	○			※注2	○			※注2：収納物の管理上適切な換気設備を計画すること。
	ドライランド	・飛込競技における技やフォームの効果的・効率的な習得や、水中練習前のウォーミングアップ、練習後のストレッチ等のために整備する。	・飛込競技の陸上でのトレーニングを行うために必要な機器・機材等を設置する。 ・飛板、トランポリン等の天端から、天井、梁、照明器具等最下端までの有効天井高さを6m以上確保すること。	228	6.0	提案	提案	提案	提案	提案	提案	○	○	○	○	提案	提案	提案	遮光

■必要諸室及び仕様

部門	室名	室の使い方等	特記事項	参考面積 (㎡)	天井高 (m) 以上	建築					電気				機械				備考
						床下地	床仕上	壁仕上	天井仕上	流台	照度 (lx)	電話	TV	LAN	空調	給水	給湯	洗面台	
共用エリア	エントランスホール・ロビー	・通常時の利用者の出入り及び待機・休憩等のスペースとするほか、大会時には大会運営関係者・出場選手等の出入り及び待機・休憩等のスペースとして使用する。	・通常時及び大会時の人の出入りや待機・休憩等に対して適切な広さ及び合理的な動線・空間構成とすること。 ・大会時は競技役員・審判員・運営スタッフ等の動線と出場選手の動線が分離できるよう、複数の出入口の設置及び動線計画に配慮すること。 ・開放的な空間とし、ロビーを隣接して設ける等、適宜ベンチ等を設置し、休憩、談話スペースとしての機能も有すること。 ・本施設の案内や、水泳に関する情報を掲示するスペースを設けること。	適宜	提案	提案	提案	提案 ※注1	提案 ※注1		300	○	○	○	○				※注1：壁仕上・天井仕上等において木材活用の方針を踏まえた優れた空間意匠の提案を期待する。
	管理事務室	・本施設の運営に必要な事務及び管理全般を行う。 ・受付、案内機能を併設する。	・施設全般の管理及び設備等の運転監視機能を設けること。 ・全館放送可能な設備を設けること。 ・その他の仕様については維持管理、運営に基づいた事業者提案による。 ・受付、案内はメインエントランスに面して計画すること ・受付カウンターを設置すること。 ・開館時間外における時間外受付及びセキュリティ管理機能に対応すること。	92	2.6	OA	TC	EP	DR	提案	500	○	○	○	○	○	○	提案	
	ホワイエ	・大会時の観客の入退場における溜まりのスペースとして使用する。	・主観客席へのアクセスに対応して2階に計画し、大会時には関係者や出場選手との動線分離が可能となるよう、階段等の外部動線を経由したアクセスが可能な計画とする。ただし、車いす利用者等については、1階エントランス周りから昇降機によるアクセスを確保すること。 ・大人数の観客に対して、安全かつ快適な入退場が可能なスペースを確保し、観客席へのスムーズなアクセスが可能な計画とすること。	適宜	提案	提案	提案	提案 ※注1	提案 ※注1		300	○	○	○	○				※注1：壁仕上・天井仕上等において木材活用の方針を踏まえた優れた空間意匠の提案を期待する。
	トイレ	・施設来場者が利用するトイレとして計画すること。	・1階には、エントランスホール近傍に、通常時の一般利用者用及び大会時の関係者等の利用を考慮して適切な規模内容（衛生器具数等）を計画すること。 ・2階においては観客席及びホワイエの近傍に、観客席数を考慮して適切な規模内容（衛生器具数等）を計画すること。 ・来場者の動線に配慮すること。 ・利用者数、観客数等を考慮した便器数・配置とすること。 ・男女トイレ内には各1か所ずつベビーベッドを設けること。 ・子ども用便座も適宜設置する等、子どもの利用に配慮すること。 ・その他、高齢者、子ども連れ及び障がい者に配慮した設備を設けること。 ・手洗いは、自動水栓とすること。 ・小便器は、個別自動洗浄小便器、大便器は洋式便器とすること。 ・洋式便座は、擬音装置を備えた温水洗浄装置とすること。 ・女性トイレには、パウダーコーナーを設けること。 ・便座クリーナー用ディスペンサーを設けること。 ・エアータオルを設けること。 ・ブース内にはバッグ等を置くための棚を設け、小便器間やブース扉にはフックを設けること。 ・イベント開催時における女子トイレの混雑に対応できるよう工夫すること。	適宜	2.6	C	VS	提案	提案	提案	200	提案	提案		提案	○	○	○	
	バリアフリーストイル	・誰もが利用しやすいトイレとして計画すること。	・バリアフリー法及び関係法令に準拠するとともに、多様な利用者や施設構成に配慮して各エリアに適切な箇所数を設けること。 ・手洗いは、自動水栓とすること。 ・洋式便座は、擬音装置を備えた温水洗浄装置とすること。 ・オストメイトに対応した設備を設けること。 ・シャワー金具はサーモスタット付きとすること。 ・ベビーベッドを設けること。 ・エアータオルを設けること。 ・その他高齢者、子ども連れ及び障がい者に配慮した設備を設けること。	適宜	2.6	C	VS	提案	提案	提案	200	提案	提案		提案	○	○	○	
	授乳室	・乳児を同伴する利用者が授乳等の目的で利用する。	・「子育てバリアフリー」の取組みを先取りするものとして、エントランスホール、観客席ホワイエ等に付随して1か所以上かつ適切な箇所数を計画すること。 ・授乳等に対応するソファ、ベビーベッド等を設けること。 ・プライバシーに配慮し、カーテン等を適切に設けること。 ・給水・給湯設備を設けること。給湯設備は衛生上の観点から個別式とすること。	適宜	2.6	C	VS 又は TC	提案	提案	○	300	○			○	○	○	提案	